

# 「愛道」と足羽福祉会の歩み

「愛道」は昭和五十四年七月一日に記念すべき第一号が発刊されました。それ以前にも足羽福祉会の各施設に機関誌は存在していましたが、愛全園の開設を機に編集委員会が設置され、足羽福祉会の機関誌として誕生しました。  
 今回は「愛道」足かけ三十年の歩みを足羽福祉会の歴史と共に振り返りたいと思います。

## 「愛道」の歩み

●昭和54年  
 第一号発刊・B5判で全八ページ構成。しかし第二号より全十二ページの構成に。



その後、第十二号までの表紙は、当時の理事長の原稿で飾られていた。

●昭和57年  
 第十四号・表紙を飾るイラストも手書き。



●昭和58年  
 第五回福井県ミニコミ紙コンクール最優秀賞受賞

●平成5年  
 福井県社会福祉協議会主催第四回福井県福祉広報紙コンクール施設団体グループの部優秀賞受賞

●平成8年  
 全国施設便りコンクール佳作受賞  
 ●平成9年  
 第六十五号・初のA4判



●平成14年  
 第七十八号・二色刷り開始  
 色網掛けが効果的に使われ、さらに見やすく読みやすいものへ。



## 足羽福祉会の歩み

●昭和41年  
 財団法人 北陸陽気園設立認可  
 ●昭和42年  
 財団法人 足羽学園に名称変更

●昭和43年  
 社会福祉法人 足羽学園設立認可



●昭和48年  
 社会福祉法人 足羽福祉会に名称変更  
 ●昭和49年  
 足羽東保育園設置認可



●平成3年  
 特別養護老人ホーム  
 足羽利生苑設置認可  
 足羽利生苑デイサービスセンター  
 併設認可



●平成4年  
 足羽学園・足羽更生園・  
 足羽ワークセンター  
 短期入所事業認可

●平成5年  
 足羽ワークセンター  
 知的障害者地域生活援助事業認可

●平成11年  
 愛全園・足羽利生苑  
 居宅介護支援センター設置

## 歴代「愛道」からの記事

こんなエピソード知っていますか？知っている方は足羽福祉会通、それとも…？

●昭和54年 第一号より

「足羽福祉会シンボルマーク」の由来  
 当事の総合企画室長豊永氏のデザインで

「足羽」  
 ←  
 「あしわ」

「A」4「輪」  
 四つのAが輪を作り、その中に福祉会の「福」をとり入れたものです。



●昭和60年  
第七回福井県ミニコミ紙コンクール  
最優秀賞受賞



●昭和62年  
第三十五号足羽ワークセンター開所  
在宅障害者の方の勤労体験学習の  
場としても地域に期待されている。



●平成元年  
第四十一号・平成最初の発刊

●平成3年  
福井県社会福祉協議会主催第二回  
福井県福祉広報紙コンクール施設  
団体グループの部最優秀賞受賞

●平成4年

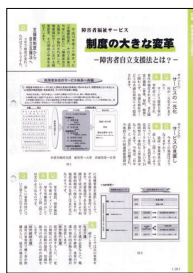
福井県社会福祉協議会主催第三回  
福井県福祉広報紙コンクール施設  
団体グループの部最優秀賞受賞  
第五十号発刊・五十号記念の特集  
ページには「百号に向かって新た  
にスタート」と書かれていた。



●平成18年  
第九十号・カラー化に向けて編集  
委員たちの更なる技術の向上が  
求められる。



「愛道」では、福祉に関する制度や  
大きなニュースも取り上げてきた。



●平成21年9月  
第百号発刊(今号)



●昭和52年  
知的障害者更生施設  
足羽更生園併設認可

●昭和54年  
特別養護老人ホーム 愛全園設置認可



●昭和55年  
愛全園デイサービスセンター認可

●昭和62年  
知的障害者授産施設  
足羽ワークセンター設置認可



●平成2年  
愛全園在宅介護支援センター設置

●平成13年  
足羽ワークセンター分場  
「あおぞら」設置

●平成16年  
足羽ワークセンター分場  
「かがやき」設置

●平成19年  
足羽利生苑認知症専用型デイサー  
ビスセンター「きらく楽」設置認可  
足羽福祉会職員研修センター開設



●平成20年  
障害福祉サービス事業・地域生活  
支援事業 足羽ワークセンター第  
一事業所および第二事業所足羽  
サポートセンター設置



●平成21年  
障害福祉サービス事業・障害者支  
援施設足羽更生園設置

●昭和55年 第七号より  
足羽福祉会創立十五周年式典挙行  
される。

足羽福祉会創立十五周年を  
記念してつくられた湯呑みには、  
記念行事のテーマ「共に生き、  
共に集う、光を求めて」が書き  
込まれていた。  
そうです、現在も足羽福祉会  
が継承している理念の一部で  
あります。



歴代の「愛道」には足羽福祉  
会の歴史そのものが記されて  
います。

今後も「共に生き、共に集う、  
光を求めて」地域に開かれた、  
地域に信頼される足羽福祉会  
を目指し、ますます「愛道」の発  
展に努めます。